

平成27年度(第27回)ポンペ賞受賞者



先日3月25日、桜が咲き始め、晴天の中、卒業式が行われました。長崎大学医学部では、創設者であるポンペ・ファン・メールデルフォールトを記念して、新卒業生を対象にポンペ賞が設けられています。第27回ポンペ賞受賞者は4名でした。卒業年次の成績が上位3位までの者として、林信孝さん、岡村宗晃さん、福田祥子さんの3名、そして、競技会で優秀な成績を挙げ、体育系課外活動推進への貢献度が高く評価された者として、赤松摩紀さんに贈呈されました。

6年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。新天地でのご活躍をお祈りしております。

成績優秀者(学業成績 上位3位)

体育系課外活動貢献者



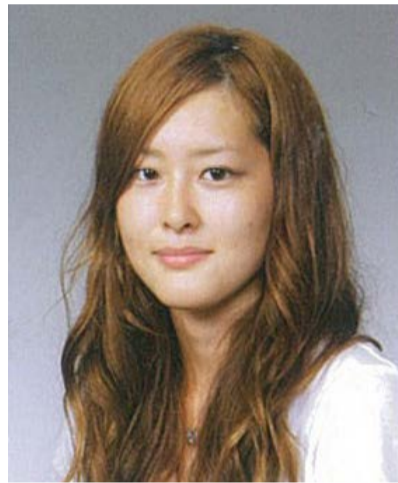
はやし のぶが 林 信孝



おかむら かずあき 岡村 宗晃



ふくだ しょうこ 福田 祥子



あかまつ まき 赤松 摩紀



編集長
熊谷知香(学友会 広報部)

編集部
長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷
株式会社インテックス

新入生オリエンテーション

春の訪れを感じる暖かい日に、新入生オリエンテーションが開催されました。新入生の皆さんは、体育館に集合し、初対面という方々が多いことから緊張した面々が少なからず見られました。午前中はドッチボール大会が行われました。いくつかのチームに分かれて本気で(?)試合を行いました。試合が無いチームは、他のチームの試合を見つつも、和気あいあいと話をしていました。時間に余裕があったことから、主催者である二年生と優勝チームの試合も行われ、大いに盛り上がっていました。試合も終わり昼食。当初は第一講義室というこ

その後の昼休み中は、ドッチボール大会で打ち解けていることもあり、話に夢中になっていました。また、二年生が新入生にキャンパス内を紹介しているところも見受けられました。午後からは授業についての説明だけでなく、学生生活や各種イベント等の紹介もありました。新入生は興味津々の顔で聞いていました。企画終了後に新入生に感想を尋ねると、「班の人とたくさん話が出来てよかった」、「ドッチボール大会の二年生を見て、団結力を感じた」等が聞かれました。



この企画を通して、二年生は企画を成し遂げる達成感を感じ、新入生は大学への不安が少しでも和らいだのではないかと思います。

企画運営の代表の二年生の小泉葵さんに話を聞いてみると、「100人以上の大人数をまとめるのは大変でしたが、ドッチボール大会に関しては楽しかったという意見を多くいただきました。また授業説明や学生生活についても、いろんな学年の先輩から話を聞いてもらうことができて良かったと思います。」とおっしゃっていました。



学友会だより

生協パーティー開催!!

先日の雨で少し桜が散りかける頃、あいにくの曇り空の下で今年も生協パーティーを開催しました。

新入生はオリエンテーションの疲れを見せつつも、受付を済ませて談笑をしていました。そこに司会の村上侑さん(五年)、溝淵正悟さん(二年)の元気な声で生協パーティーが始まりました。

初めに、先生方からの講話があり、引き締まった顔の新入生が見受けられました。次に我々が学友会長の馬渡将語さん(五年)が乾杯の

挨拶を行い、新入生は楽しそうに話しながら食事をとっていました。

そして部活生たちにとっては大切なイベントである部活動紹介が行われました。真面目な挨拶で勧誘する部活もあれば、新入生を楽しませるような歌やダンスを取り入れた勧誘をする部活もありました。新入生はとても楽しそうな表情でした。

新入生に感想を聞いてみると、「司会の方が面白かった」、「思ったより先輩方が活動的で魅力的でした」などが聞かれました。



海外リサーチ報告 ヴュルツブルグ大学留学を振り返って

四年間 敬邦



英語のみを用いて生活していましたが、(というより、ドイツ語は話せません・・・)

2か月間生活したのは大学病院の近くに位置する看護師の方々が普段利用している寮であり、自分が毎朝寮を出る時間と彼らが寮を出る時間が被らなかつたためか他の居住者に会う機会はありません、毎日国際交流をする、といったような留学期間ではありませんでした。とはいえ、年の近い研究員やヴュルツブルグでの生活の世話をしてくれた2人の学生チューター、3月から長崎に実習へ来ていた学生とともに寿司を食べたり街の中を観光したりと、決して多くはありませんが現地での友人もできました。

2016年の1月4日から2月末までのリサーチセミナーの期間、自分はドイツのヴュルツブルグ大学で研究を行う機会をいただきました。ヴュルツブルグはドイツにおいて、地理的には中心よりやや南に位置し、14世紀から続く醸造所があるなどワイン造りで有名な街です。また、街の中にはヨーロッパ屈指のパロック建築の傑作である世界遺産、「ヴュルツブルグのレジデンツ」が存在します。ワインづくりのためのブドウの収穫時期、過ごしやすい気候となる夏季にはドイツ国内のみならず、ヨーロッパ各国やそれ以外の国から多くの観光客が訪れる都市でもあります。街自体はそれほど大きくはなく1、2日あれば主要な名所は見回れる程度です。

同じくヴュルツブルグ大学でも医学分野に関する研究を行うのが慣例ですが、今回自分の提出した「体内時計と時計遺伝子」というテーマに関連する研究を行っているのが医学部ではなくBiologysの研究所であったため、調整をしていただいた結果、その研究所でリサーチを行うことができました。その研究所ではハエなどのモデル動物を用いた研究を行っており、自分もキイロショウジョウバエを用いて、ハエの脳内の体内時計に関するネットワークと気候、遺伝系統に関する研究を行いました。ドイツの研究室ではありますが研究員すべてがドイツ出身というわけではなく、イタリアやスペイン、インドなど様々な国の出身の人々が研究を行っています。そのためセミナーや会議を行う時の主要言語は英語であり、自分も2か月間



帰国まで10日ほどの余裕もあったため、ウイーンやプラハなど他国の都市へも行きました。(プラハは特別にお勧めです!!) 自分はこういった文章を書くのがとても苦手なため、ここまで読まれた方はどうしても淡白な印象を受けられるかもしれませんが、日々、日本では味わえない貴重な経験ができ、留学をする選択をしたのは正解だったと感じています。今後リサーチを行う予定の学年の方々で行こうかどうか迷っている人は、ぜひ海外へ出てみることをお勧めします。心配している問題などもなんだかんだ乗り切れます。気合と体力で。笑

可能であればまた5、6年の実習でも、ドイツとは限らず海外で勉強する機会が得られれば良いな、と思います。最後に、留学に関する様々な調整をしていただいた力石さん、楠本さん、精神科の小澤教授とドイツのデカード教授、そして研究所で指導をいただいたパメラ先生とフォスター教授に心より感謝を申し上げます。

海外リサーチ報告 ライデン大学での研究について

四年 西田 千紗



ほと多いものか、研究とは、いかに時間のかかる、骨の折れる作業であるかがよく分かりました。また、国民の9割以上が流暢に英語を話せるといわれるオランダ人の中に飛び込み、専門用語・学識用語を全て英語でこなすのは簡単なことではありませんでした。もともと握り下げの時間が欲しい・・・それが正直な気持ちでした。

私は、三年後期のリサーチセミナーで、オランダのライデン大学に二か月間留学する機会をいただきました。ライデンは、大都市ではないものの、首都アムステルダムからのアクセスも良く、街の至る所に大学の関連施設が散らばっているため、まるで街全体がキャンパスのような、とても過ごしやすい学生の街でした。到着してすぐに、私はこの穏やかな雰囲気、街の至る所に大学の関連施設が散らばっているため、まるで街全体がキャンパスのような、とても過ごしやすい学生の街でした。到着してすぐに、私はこの穏やかな雰囲気、街の至る所に大学の関連施設が散らばっているため、まるで街全体がキャンパスのような、とても過ごしやすい学生の街でした。



習ったオスシメの食べ方を試してみると、これが絶品!!地元ならではの食文化を味わうことが出来ました。一方で、ホストファミリーにお寿司やお好み焼きなどの日本食を振舞ったり、人文学部を振舞ったり、人文学部が、毎回とても楽しめました。市場では、日本では見たことのない野菜や魚がずらりと並んでいて、眺めるだけでも飽きないほどでしたが、実際に買って、お店の人に

高め、泣き声などの乳幼児期の子供からの刺激に対する親の反応を早めたり、より愛情深く、積極的に子供に関わるよう促したりするのでないかということ②ドーパミンの薬物介入の効果を減退させる特異的な遺伝子や脳活動の存在を解明することが、主な目的でした。この研究はまだデータ収集段階にあるため、期間中に結果を出すことは叶いませんでしたが、実験と並行して、数十ページにもおよぶ研究計画書や関連論文を読んだり、実験に用いる脳波計の取り付け・読解のトレーニングをしたり、データ解析に必要な医学統計学を学んだり、盛りだくさんの日々でした。今回が研究初体験の私でしたが、実験をする以前に、その実験に必要な事前準備や知識がどれ



験の機会を与えていただき、また充実した現地生活へのアドバイスを下された、小路先生を初めとする長崎大学の先生方や学務の皆様、ライデン大学のBecken先生や研究室の皆様、そして、5年次・坂山朋子先輩、その他関係各所のすべての皆様に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

海外リサーチ報告

Hallo Leiden!!

ライデン大学での留学を終えて!

四年 濱崎 哲

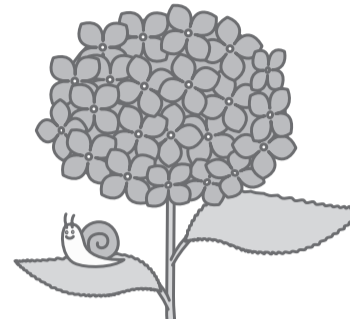
こんにちは。私は医学科4年の濱崎哲です。今回私は、3年生後期のリサーチセミナー期間を利用して、同級生の藤津さんと西田さんとオランダのライデンにあるライデン大学で海外リサーチを行いました。私は、昔から海外の国や文化に興味があったので、留学するぞ!と決心して、ライデン大学への留学に挑戦しました。

まず、ライデンはどんな街か、紹介します。ライデンは、阿姆斯特ダムと、ロッテルダムの間くらいに位置し、デン・ハーグにも近く、とても交通の便が良い場所です。街自体は大きくないですが、街全体に運河が張り巡らされて、きれいな街です。そのライデンにあるライデン大学は、1575年に設立されたそう、オランダ内で最も古く、国際的にも有名な大学です。学生数もとても多く、大きな大学なので、ライデン全体が大学生のための街というような雰囲気です。そして、江戸時代に日本や長崎を訪れたシーボルトは日本滞在后、ライデンに住み、「日本学」を研究したそう、ライデンは、日本や長崎との関係がとても深い場所でもあります。

朝7時、起床。シャワーを浴びて、ホストファミリーと朝食をとる。9時に研究室に行き、夕方5時まで研究をする。昼ご飯は研究室のメンバーと病棟の食堂で食べる。夜は、スーパーで食材を買って家で食べたり、友達と一緒にご飯を食べたり。帰宅後はホストファミリーと話して、寝る。と言う感じでした。休日

は、市場やスポーツジム、ちよつとした旅行などにしたりしました。オランダの公用語はオランダ語ですが、オランダ語と英語は似ているためか、ほとんど全てのオランダ人は、英語を話すことができたため、何とかコミュニケーションをとることができました。ホストファミリーは一般的なオランダ人でしたが、とても優しくて豊かな心を持っていて、私を1人の家族のように扱ってくれました。私が、リサーチのことで困っている時に親身に助けてくれたり、時にはドライブで海に連れて行ってくれたりしました。また、私が日本人だったの、テレビで「ラストサムライ」が放映されている時に、「一緒に見よう!」と誘ってくれたこともありました。

私は今回の留学に、「やらないで後悔するよりやってみよう」ということを意識して挑戦しました。そのおかげで、いろいろなことを学ぶことができたと思います。皆さんも留学や何か興味があることがあったら、ぜひ挑戦してみてください!



リサーチセミナー

フランス アンジェ大学

母への手紙「フランスより愛を込めて」 四年 米村 悠



Le Puyの街

私はフランスのアンジェ大学でリサーチ・セミナーを行いました。心の底から素晴らしいと思える経験が待っていると、是非、来年、再来年と行かれる方がおられることを願って止みません。今回、拙筆ながら誌面を頂き、考えました。如何にすればその魅力を伝えることができるのか。皆さん、医学研究の話については食傷気味かと思われ、リサーチ・セミナー発表会でも沢山聴かれることでしょうか。ですので、この側面の宣伝効果は低いものと考えました。代わって、日常、忙しい医学部生が経験しにくい側面が、よりフランスでのリサーチ

私は今回の留学に、「やらないで後悔するよりやってみよう」ということを意識して挑戦しました。そのおかげで、いろいろなことを学ぶことができたと思います。皆さんも留学や何か興味があることがあったら、ぜひ挑戦してみてください!



旅の途中にてチャペルで



R 65・分岐路

鮮やかに色分けされた、個々の色彩を溶け合わせ、あるいは補色の関係を作ることを言葉で表現した、私の一番好きな魔法のようなフランス語です。今、フランスのアンジェ市にいます。私は海人なのですが、知っての通り、時に富士山でも暮らした、また、メーヌ湖の畔で優雅な一時を過ごしたりもするのです。朝にはビーチが陽気に首を振って水と遊んでいきます。夕には、メーヌ川の上空で幾億とも尽きることを知らぬ渡り鳥の群が河となり、風に乗ってうねりを起し、再び直線となって、湖面へと流れ落ちます。明日の昼にはピレネー山脈を越えて、ラッコさんの古巣辺りまで辿り着いていることでしょう。

そうは言うものの、実際、お互いが慣れるためには多少の時間が必要だと思います。フランス語に appriver と、動詞があり、辞書の意味には「(動物)を馴らす」とあります。小説「星の王子様」の中で appriver を、内藤濯さんは「飼いなす」、石井洋二郎さんは「なじみになる」と訳されています。一方で人間にも使われ、「Les Champs-Élysées」の歌詞にも現れます。こちらは「人が人に馴染む」という意味です。スペイン語、英語、もちろん日本語にも appriver に直訳できる言葉はありません。

命からがら中央山塊の吹雪を抜け、雪解けの水を集める山間の村、Estangまで辿り着いた所です。Estangの村は明るい灰色をしていて、日中の光に良く映えまします。火山帯の中心の一つである Le Puy の町から歩くと、村ごとに色が違うことに気付きます。家が石造りなので、産出する石の色で村の色が決まっています。紅柄色、鶯色、鈍色などの村がありました。ロット川がきらきらと反射光を返し、眩しく、400年を経た教会と村が、未だ青年期の瑞々しさの中にあることを教えてくれます。

今日、霜柱の解けた、ぐちゃぐちゃな牧場を歩いたので、足から馬糞の臭いがするよう気がしますが、眠さには勝てそうにありません。おやすみなさい。ママ、ナディーヌ サリュ!! 元気なのは知っています、御訊さします。お元気で。慣例ですの、私にも元気で。みんな元気でしょう。エミリはグビッドの十円ハゲを拡大させていません。ジェスはあの大物を結局仕留めたのでしょうか。そろそろ自車に備え付けるポータブル・ワインカーヴを送ってくるよう、お伝え下さい。サーシャ画伯の絵は、現在、愛宕天文台の部屋の一隅を占めています。あなたは昔、僕が愛した女性の二十五年後だったのかもしれない。あの頃、僕はまだ青く、破壊か創造の二つしかありませんでした。あなたの暮らした中で、愛はゆつたりと、時間軸に沿って広がることを知りました。僕はいつもあなたに包まれています、ママ。 ナディーヌの辞書に不可能はないのです。ではまた来週!!



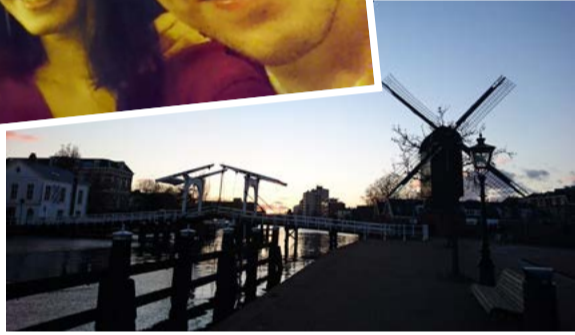
アンジェの街



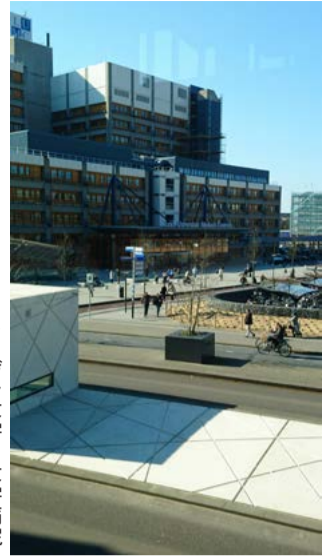
研究室の仲間と



留学生と



ライデンの街



ライデン大学 大学病院

リサーチセミナー オランダ ライデン大学

四年 藤津 宏隆

医学科4年生の藤津宏隆です。今回、私は海外リサーチセミナーで1月から2ヶ月間、オランダ王国のライデン大学へ行ってきました。私は、感染症の教室でマゴットセラピーの実験をさせて頂きました。マゴットとは蠅の幼虫で、所謂、ウジ虫のことです。そのウジ虫は、外傷の治療を早めたり、炎症を抑えたり、感染症を防いでくれ

ます。その詳細は、リサーチセミナー発表会で報告したいと思います。1日のスケジュールとして、8時半までに研究所に出向いて、夕方まで指導教官のもとで、実験のお手伝いと自分の実験をする毎日でした。夜は、ライデン大学の図書館で実験に関する論文や実験の仕様書を読んで勉強していました。2月に入ると、ライデン大学への留学生が数多くやっています。ライデン大学では、留学生の交流会が頻りに行われており、時間があるときは参加しました。交流会は、ゲーム大会、ダンス、食事会やホームパーティなど様々なことが行われていました。特に週末は、必ず何かしらのイベントが開催されていました。参加する度に、様々な国の出身者と出合えて、有意義な時間を過ごせました。もちろん、学部は医学部に限ったものではありません。ライデン大学は医学部だけでなく、人文系の学部も世界的に有名で、ヨーロッパ圏だけでなく、世界中から留学生がやっています。特にヨーロッパの留学生は語学に対して、深い洞察を持っていて、深い印象を受けました。だ

いたいの留学生は、母国語と英語以外に1つか2つの言語を話せていました。この点は、日本の学生も見習うべきだと思います。英語はできて当たり前で、もう一つ言語を話せるぐらいが普通であるような感じですが、自身、英語能力はそれ程高くないですが、他言語にもチャレンジしたいです。その他に、ヨーロッパ人は踊ることに慣れてる感じがしました。ダンスパーティーは当たり前のように開催されており、留学生も上手に踊っていました。日本では踊る習慣がヨーロッパやアメリカに比べて少ないので、日本人の参加者は少ない気がしました。こういった所にも文化の違いがあることをしみじみと感じました。

また、ライデン大学のスポーツセンターでは、様々なスポーツを体験できるようなっています。参加者は高校生から社会人まで、学生以外の人々も気軽に参加できる

このように勉強以外にも様々なことをしていましたが、日本に居ると自分が日本人であることを意識しませんが、海外へ行くことで改めて自分が日本人だと気づかれます。世界的にみても、アジアでは中国人の留学生が日本人留学生よりも多いはずですが、自分が日本人であることを伝えるツールとして、語学やコミュニケーションの取り方を考える良い機会であったと思います。

このように勉強以外にも様々なことをしていましたが、日本に居ると自分が日本人であることを意識しませんが、海外へ行くことで改めて自分が日本人だと気づかれます。世界的にみても、アジアでは中国人の留学生が日本人留学生よりも多いはずですが、自分が日本人であることを伝えるツールとして、語学やコミュニケーションの取り方を考える良い機会であったと思います。

また、ライデン大学のスポーツセンターでは、様々なスポーツを体験できるようなっています。参加者は高校生から社会人まで、学生以外の人々も気軽に参加できる

このように勉強以外にも様々なことをしていましたが、日本に居ると自分が日本人であることを意識しませんが、海外へ行くことで改めて自分が日本人だと気づかれます。世界的にみても、アジアでは中国人の留学生が日本人留学生よりも多いはずですが、自分が日本人であることを伝えるツールとして、語学やコミュニケーションの取り方を考える良い機会であったと思います。

また、私は今まで論文を書くという経験がなかったが、メンターのブレイク先生から論文の書き方、文章の構築の仕方、文献の引用の仕方などを親身に教えていただいた。これは今後私が医療人として学術成果を発表していく上で、とても価値のある経験であったと言える。

リサーチセミナー アラブ首長国連邦に留学して

四年 白髭 知之



アブダビのシェイクザイドグランドモスクにて

私は2016年1月から2月までのちょうど1ヶ月間リサーチセミナーの期間を利用してアラブ首長国連邦に留学しました。今回の留学では国立アラブ首長国連邦大学の医学部の公衆衛生学教室に受け入れてもらって「アラブ首長国連邦におけるヘルスケアシステム」の現状調査及びこれからの展望についての考察というものを与えられた。まずメンターのブレイク先生から多くの文献を与えられ文献調査を行った。その後、連邦保健省において副大臣やその他の部署の部長との対談及び聞き取り調査、アブダビ保健省やドバイ保健省、世界有数のヘルスケアフリーゾーンであるドバイ

ヘルスケアシティへの訪問及び聞き取り調査を行った。通常学生が受け入れてもらえない機関への訪問を数多く行い、各機関を実際に動かしている人々に聞き取り調査を行うことは、アラブ首長国連邦のヘルスケアシステムの現状を知るために非常に有意義であった。また、ヘルスケアシステムの一般論を理解するため、ブレイク先生を初めとする、公衆衛生学教室の先生方からの医療経済学や医療政策についての個別の特別講義を数多く受講した。大学院生対象の講義も聴講した。現在、ブレイク先生のご指導のもと、これらの成果をまとめたレポートを論文形式で執筆中である。



ドバイヘルスケアシティにて

英語とアラビア語しかない世界で暮らすのは最初は非常に困難なことに感じたが、1週間もすると毎日が刺激的でとても楽しく思えた。特にイスラム教徒の人々と関わった経験がなかった。彼らの価値観に接触することは私にとって実に新鮮なことであった。寮生活を送る中で、アラブ首長国連邦出身者ももちろん、シリア、イスラエル、イエメン、パキスタン、ギリシャ、ドイツ、その他の多様な出身地、バックグラウンドを持つ人々と関わる機会があった。また、アラブ首長国連邦は居住者の約80%が外国人という多文化が共存している国であるため、ほぼ100%の居住者が自国民である日本と

は、国の制度や外国人に対する考え方そのものが大きく違い、興味深く感じた。日本と全く異なる文化に触れることで、日本の文化というものに客観的に見つめ、その長所や短所を理解することが出来たと思う。また、日本の文化をよく知り、英語で説明できるようにすることの重要性を痛感した。

今回、医療行政という将来自分が従事したいフィールドで働いている人々に数多く会うことができ、またその人々のキャリアパスも何うことができた。どのような大学院でどのような分野を専門的に学習した人材が医療行政のフィールドで求められているのかということがよくわかった。

また、私は今まで論文を書くという経験がなかったが、メンターのブレイク先生から論文の書き方、文章の構築の仕方、文献の引用の仕方などを親身に教えていただいた。これは今後私が医療人として学術成果を発表していく上で、とても価値のある経験であったと言える。

北米病理学会にて、 医学科5年原正武さんが ポスター発表されました！

昨年(2015年)のぐびろが丘新聞第14号で、現6年大川原正武さんと現5年吉川亮さんが北米病理学会(略して、USCAP)で口頭発表を行ったことをお伝えしましたが、今年も同学会で4年の原正武さんがポスター発表を行いました！USCAPは世界的に活躍される著名な先生方が発表される国際学会です。当然ながら抄録の審査も厳しく、学生が発表まで漕ぎつけるのはなかなかハードルが高いのです。

そんな原さんに、国際学会や基礎研究のお話を伺ってきました。

——早速ですが、今回USCAPで発表された研究のテーマを教えてください！

患者さんも少なくありません。現在までのところ、臨床的には将来起こる急性増悪を予測する因子がいくつか報告されていますが、病理組織学的な因子についてはまだわかっていません。私の研究の目的は、将来起こる急性増悪を予測しうる病理組織学的因子を見つけることです。

——その因子が事前に発見できれば、患者さんが急性増悪を起こしやすいかどうか、予測ができるということですね。悪くなると分れば、医師として打つ対策も違ってきそうです。USCAPの学会自体はいかがでしたか？

世界最大の病理学会だけあって、まず規模の大きさに驚きました。今回のUSCAPはシアトルで開催されたのですが、参加者であることを示すネームタグをぶら下げた人が町中に溢れていました。主催者発表によれば、アメリカ、カナダを含めて世界84か国から約4,700人が参加したそうです。

また、ポスター発表会場ではMoro Clinicなどの有名医療機関やHarvard, Yaleなどの名門大学がズラリと並んでいて、しかも発表者のほとんどが医師であるばかりでなく、PhDでした。そのような中で学生でありながら発表ができたことは、とてもよい経験になりました。

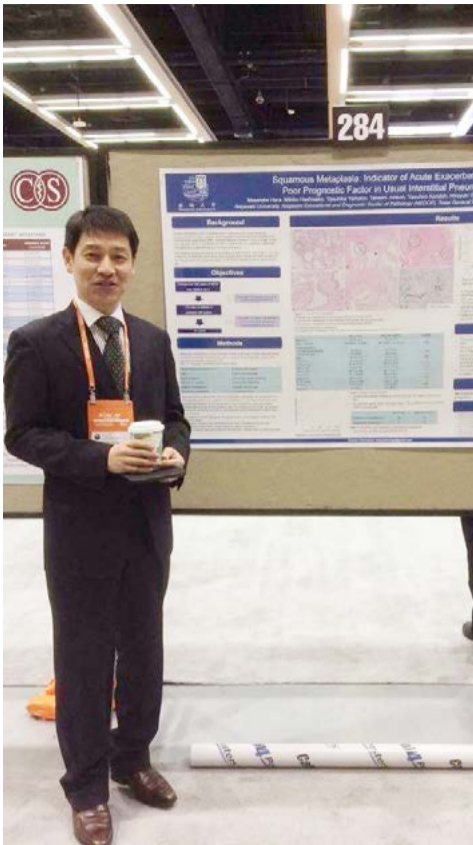
——正解中の病理医の先生方が発表を目指して応募される学会でもありません。原さんは元々、興味があつて病理診断科のリサーチセミナーを選んだんですか？

私は外科系を志望しているのですが、多くの診療科で病理に検体を提出して病理診断を求めているとあると思います。その時に、病理に全てお任せ、というのではなく、まず病理がどのようなプロセスを経て診断をしているのかを理解し、また、臨床医としても病理の知識をしっかりと身に付けておいて、自分でもある程度は診断ができ、病理の先生とディスカッションできるようにしたいと思つたからです。

——なるほど。病理医は「ドクターズ・ドクター」とも言われますね。患者さんに診断を付けるうえで、病理組織の検討は重要な位置を占めていますから、難しい症例ほど病理医の存在は大きいでしょうね。

さて、今年で三年連続、病理診断科から学生が国際学会での発表を果たしています。原さんもリサーチセミナー開始当初からUSCAPでの発表を目標にしていたんですか？

確かに大変でしたね。土日や休みの期間も研究に費やしていましたし、学校の勉強も疎かにはできませんし。私は器用な方ではないので、特にこうしたらうまくいく、というのはないのですが、とにかく絶対に最後までやる！という気持ちが重要ではないでしょうか。もし病理での研究に少し興味をお持ちの方がいらしたら、USCAPのウェブサイトでも過去のUSCAP Annual Meetingをご覧になってみるのもよいのではないのでしょうか。あの土日や休みの期間も研究に費やしていましたし、学校の勉強も疎かにはできませんし。私は器用な方ではないので、特にこうしたらうまくいく、というのはないのですが、とにかく絶対に最後までやる！という気持ちが重要ではないでしょうか。もし病理での研究に少し興味をお持ちの方がいらしたら、USCAPのウェブサイトでも過去のUSCAP Annual Meetingをご覧になってみるのもよいのではないのでしょうか。あの



「放射線災害医療サマーセミナー2016」のお知らせ

一昨年(2014年)から、福島県立医科大学と笹川記念保健協力財団、そして長崎大学の共催で年一回開催されているセミナーです。2015年の東日本大震災から約5年、大津波による福島第一・第二原子力発電所の被害は福島県浜通りの多くの人々の生活を変化させ、また、多くの日本人に「放射線」や「原発」といった言葉を浸透させました。

皆さんが今いる長崎大学から、震災直後の福島県に、多くの先生方が「放射線災害医療」のサポートに向かったことをご存知ですか。震災当時、原子力発電所が何が起こったのか。どのくらいの被害があったのか。それらはどう評価したもののか。そして、発電所近くに住んでいた人たちはこの5年間、どんな思いを抱いていたのか。...このセミナーを通して学びませんか。

医学知識に自信のない1年生も、震災当時すでに長崎大学にいた6年生も、長崎には分からないことが感じられるセミナーです。応募は <http://www.smhf.or.jp/> まで。一昨年(2014年)のセミナーに参加した新聞部員・市川の体験記がご覧いただけます。ご興味のある方は、http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/pompe/gubiro/data/gubiro_13.pdf をご覧ください。

「放射線災害医療サマーセミナー2016」のお知らせ

一昨年(2014年)から、福島県立医科大学と笹川記念保健協力財団、そして長崎大学の共催で年一回開催されているセミナーです。2015年の東日本大震災から約5年、大津波による福島第一・第二原子力発電所の被害は福島県浜通りの多くの人々の生活を変化させ、また、多くの日本人に「放射線」や「原発」といった言葉を浸透させました。

皆さんが今いる長崎大学から、震災直後の福島県に、多くの先生方が「放射線災害医療」のサポートに向かったことをご存知ですか。震災当時、原子力発電所が何が起こったのか。どのくらいの被害があったのか。それらはどう評価したもののか。そして、発電所近くに住んでいた人たちはこの5年間、どんな思いを抱いていたのか。...このセミナーを通して学びませんか。

医学知識に自信のない1年生も、震災当時すでに長崎大学にいた6年生も、長崎には分からないことが感じられるセミナーです。応募は <http://www.smhf.or.jp/> まで。一昨年(2014年)のセミナーに参加した新聞部員・市川の体験記がご覧いただけます。ご興味のある方は、http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/pompe/gubiro/data/gubiro_13.pdf をご覧ください。

★長崎イベント特集★

一年生の皆さん！大学生活には慣れましたか？(*^^*)

今回は夏季に長崎市内で開催される注目イベントを一足先に特集してみました！新しく出来た友達や先輩とはたまた早速恋人と(!?)足を運んでみてはどうでしょうか♪

楽しい夏祭り！

長崎なごは祭り！

季節を満喫しよう！



開催日：7月下旬

『ながさきみなとまつり』

今や長崎の夏を代表する祭りといっても過言ではない！長崎水辺の森公園で2日間にわたって開催されます。注目のステージイベントや飲食店も沢山あって、子どもから大人まで楽しめちゃいます！(^)！長崎港を豪華に彩る両日で計10000発の花火は必見です♪みんなで素敵な長崎の海と港にくり出そう！



開催日：毎年8月15日

『精霊流し』

他県出身の人もご存じの方はいらっしゃるのではないでしょうか？長崎の精霊流しは、盆前に死去した人の遺族が故人の霊を弔うために手作りの船を造り、船を曳きながら街中を練り歩き極楽浄土へ送り出すという伝統行事です。故人の好きだったもので装飾され、どれもこれも愛で溢れた一艘となっています。当日は夕暮れ時になると町のあちこちから「チャンコンチャンコン」という鐘の音と、「ドーイーイ」の掛け声。耳をつんざくほどの爆竹の音が鳴り響き、賑やかな行列は夜遅くまで続きます…



開催日：5月下旬～6月上旬

『ながさき紫陽花まつり』

「医学は長崎から」の授業でもお馴染みのオランダ商館邸宅シーボルト。彼は国外追放の身となり日本を離れた後も、最愛の妻・お滝のことを想い、大好きなあじさいに「オタクサ」と学名をつけヨーロッパに紹介したそうです。『ながさき紫陽花まつり』の期間中、市内各所(中島川周辺、シーボルト記念館、出島、グラバー園など)で計約4000株ものあじさいを観賞することができますよ！彼らにまつわる場所を訪ね、2人の愛の軌跡に想いを馳せてみるのも素敵ですね♪

画像引用：「長崎市公式観光ガイドあつ！とながさき」より

第21回 医学展開催のお知らせ

2016年11月12日、15日(夜のみ)に医学展を開催いたします！



前回の様子

医学展は3年に一度の医学部主催の文化祭です。例年とは違い、今年の日程は土日ではないので、ご注意ください。

医学展のことを知らない人の方のために、前回の医学展の内容を簡単に紹介いたします。

テーマは『医国情緒』。講演会では、連続公開講演会と称し二日間連続で向井重紀さん、三浦雄一郎さんが「夢」をテーマにお話して下さいました。今年も気合を入れて講演会を企画しています。

もう一つご紹介したいのが前回の医学展で大盛況だったミスコンです。医学展におけるミスコンとは内面的な美を競い、どれだけその候補者を大切に思っているかを部員がアピールする部活対抗の運動会のようなものです。

昨年の内容としては候補者とその応援団が告



前回の様子

白シーンを演じたり、工夫を凝らしたジェスチャーゲームをするなどチームワークが優勝の鍵となるミスコンでした。終了後のアンケートでは、ミスコンに出席すればよかった、という部活の声も聞かれ、観会場全体が笑いに包まれるような楽しいミスコンになりました。今年も行う予定です。今年もぜひお越し下さい！

他にも屋台が並び、中高生を対象に医学部先生となり医学について楽しく学ぶ坂本塾が開校されるなど、様々な催しがありました。

今年も様々な企画の準備を進めています。今後のお知らせにご注目ください！

～春が来た♪たっぷり野菜の♥春色スフレグラタン～



○手順

- ①オーブンを160℃で余熱します。
- ②余熱が完了するまでの間で、準備をします♪具材を切っていきましょう。
- ③玉ねぎ・トマト・キャベツをそれぞれ1cm角に切ります。ソーセージも同様に小さく切っていきましょう♪
- ④ソースを作っていきます。ボウルに卵黄、粉チーズ、マヨネーズ、牛乳、塩こしょうを加えて混ぜます。
- ⑤別のボールに卵白を入れ、泡立て器で角が立つまで泡立てます。(ハンドミキサーがあると便利☆)
- ⑥③のボウルに⑤の卵白を加えます。さらに③で切った材料を入れ、さっくりと混ぜましょう(混ぜすぎに注意!)
- ⑦⑥を耐熱容器に移し、余熱が完了したら160℃で20分焼きます。ふんわり膨らんだら、出来上がり♡♡

○材料(2人分)

新玉ねぎ(2分の1個)、トマト(4分の1個)、ソーセージ3本、春キャベツ(数枚)

○ソースの材料

卵黄2個分、粉チーズ・マヨネーズ各大さじ2、牛乳大さじ1、塩こしょう少々、卵白2個分

♥今回の旬のお野菜

新玉ねぎ、春キャベツ



○ ついつい余ってしまう野菜、ハム、ソーセージなど、もったいないですよ笑
 どんどんいわちやえ!と考えたのがこちら笑 具たくさんにしても、とってもおいしいですよ♪
 グリーンアスパラガス、ハム、かぼちゃもおすすめ。いろいろ挑戦してみよう!

はじめてのレシピシリーズ ♥一人暮らしのお料理♥

「また新しい季節がめぐってきました♡♡」

新入生のみなさん、はじめまして!ご入学おめでとうございます。新生活はいかがですか?

この新聞を手にとってください、ありがとうございます♡
 こちらの料理コーナーでは、
ぱぱっと♡簡単に♡おうちごはん♡をテーマに、
 毎回レシピを紹介しています。
 新生活のおともにもしてもらえたら嬉しいな♪
 さあ、たのしいお料理の時間です(*^^*)!



編集後記

なんとか無事に進級できました!熊合です!春は何かと忙しいですね!今年も勉強に支障を来さない程度に遊んだり、いろんなことに挑戦したいですね♪
 (熊合知香)

お久しぶりです!荻野です。春は別れと出会いの季節ですね。先日、お世話になった先輩方が卒業されたと同時に沢山の1年生を迎え、感慨深いものがあります。今年も部活、勉強、医学展と盛り沢山な年になります。4年生になりましたが、忘れかけていたフレッシュさを取り戻して打ち込もうと思います!
 (荻野恵梨)

現在、オランダで高次臨床実習中の松本です。今までは海外クリニックの先輩方の体験記を集める仕事をしていましたが、まさか自分がいくとは思っていませんでした!九州での地震の被害の深刻さはこちらでも報道されていますが、断片的な情報ばかりで、もどかしい思いをします。1日も早い復興をお祈り申し上げます。
 (松本 学)

早くも最終学年になりました。新聞も何号と発行させていただきましたが、号を重ねることに改善提案・新しいアイデアが実行されてきて、良い紙面になってきました。新聞部でももっと新しいことをどんどんやってくれる新入部員も大募集中です!
 (市川宏美)

早いもので5年生になり学生生活もあとわずか、まだまだやり残したことがたくさんです。今年度は三年に一度の医学展がある年で、運営にも力をいれて頑張っていこうと思います♡
 (野本和弘)

四年生になり、学生生活もあと半分になりました。山本です。今年度は医学部主催の学園祭である、医学展のある年です。3年に一度の機会なので、なにか企画に関わったり、見に来たり、いろいろな形でぜひ参加してくださいね。これからどんどん情報を発信していく予定です。今年も悔いのない一年にしていきたいです!
 (山本侑季)

新入生のフレッシュさがまぶしすぎる和田です。学生生活も折り返し地点にきましたが、私もまだまだいけると信じてたい!笑
 さて、今回のお料理コーナーは、春野菜たっぷりのグラタンです!
 やさしい春の味覚を、めしあがれぬ
 (和田澄華)

学生生活が3分の1も終わったのかとしみじみ思っている3年の松島です。
 取材のために新入生に関わる機会が多く、あの輝かしい目が眩しく感じてしまいました!
 私も新入生の頃の気持ちを思い出して、勉強や遊びに邁進していこうと思います!

(松島俊樹)